第4回 まちづくり活動リレー

前号に引き続き、昨年6月に開催したまちづくり交流会「WAメッセ」の参加団体からまちづくり活動をしている人々を紹介します。

今回は「武蔵関環境を守る会」

天祖若宮八幡宮の鎮守の森と武蔵関公園、そして庭の緑に囲まれた住宅街。訪問したのは、関町北3丁目の住宅街です。一軒約64坪の敷地が並び、それぞれの玄関が個性豊かに飾られています。

もともとこの地域の建築物は、法律上3階建てで高さ10mまでに制限されています。しかし、北下がりの地形ということから、この高さでも日照に不安があります。「武蔵関環境を守る会」の責任者石井清さんは、昭和45年、突然家の南側に3階建ての建物が建つと聞いたとき、太陽の恵みが失われてしまう…と不安になったそうです。そこで地域で約250名（約100世帯）の署名を集め区に陳情するとともに、建主にもお願いし、3階建ての建築をくいとめました。「この活動の中で知ったのが、＊『建築協定』です。この協定を結ぶため、『環境を守る会』が設立されました。5人の侍が中心になって…」と石井さんは微笑みながら語ってくださいました。既成の住宅地では初めての締結だったそうです。

「会の活動で一番大切なことが、地域交流だと思います。この地域は昭和30年の開発で一斉に人が移り住んできました。同じような思いを持った人が多かったのかもしれませんね。これまで、社会情勢が日々変わっても、この協定に関心を持ち続けてほしいという思いで、10年ごとに協定を3回更新してきました。また、積極的に地域でPRしたり、区の建築調整課とたえず連絡を取っています。」と石井さん。報告の必要があるたびに発行している「お知らせ」は261号にもなっているそうです。

すべての土地の所有権者と借地権者の同意を必要とする「建築協定」。「組織の高齢化等の問題から、今回の協定期間は20年にしました。更新まであと15年、次世代にうまくつないでいけたら…」と石井さんは言います。この協定が次世代まで続き、環境が守られていってほしいですね。

最後に石井さんから。「居心地のよい住環境について考えてみませんか？ひとりひとりがちょっと我慢することで、地域全体を守れます。住環境を守るためにある「建築協定」は大変価値のあるものです」

＊土地所有者等の合意によって、建築基準法で定められた建築の最低の基準（敷地、位置、構造、用途、形態など）の上乗せができる仕組みです。

武蔵関建築協定のポスター

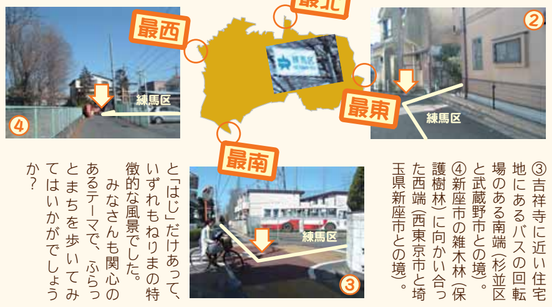
専門研究員の気ままなコラム

まちづくりセンターで、区民のみなさんのみどりづくり、まちづくりのお手伝いをしています。ご質問等がありましたら、ぜひお寄せください。

まちづくり まちづくりの「？」
～ねりまの「はじ」を歩く～

杉崎和久専門研究員（まちづくり担当）

今回の特集は「まちあるき」ということですので、さっそく私もいままでずっと気になっていた「練馬区の『はじっこ』（最端部）をぐるっと回ってみました。



①白子川と川越街道の交わる場所にある北端（板橋区と埼玉県和光市との境）。
②学校裏に接する窪地の新旧の住宅地が接する東端（豊島区との境）。
③吉祥寺に近い住宅地にあるバスの回転場のある南端（杉並区と武蔵野市との境）。
④新座市の雑木林（保護樹林）に向かい合った西端（西東京市と埼玉県新座市との境）。

と「はじ」だけあって、いずれもねりまの特徴的な風景でした。みなさんも関心のあるテーマで、ふらっとまちを歩いてみてはいかがでしょうか？

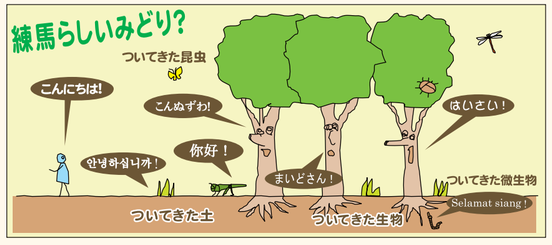
みどり 郷土種緑化の反省と展開
～地域性系統緑化を練馬から進めよう！～

岩崎哲也専門研究員（みどり担当）

練馬の潜在的な極相（きょくそう）林（りん）構成種は何ですか？その種類を植えれば、それは郷土のみどりなの？

例えばスダジイやタブノキなど、郷土古来の植物種を植える運動が各地で行われてきました。最近は、これが進化し、「地域性系統種苗（しゅびょう）」を大事にしましょうという考え方が国家的な緑化の重要事項になっています。せっかく郷土種を検討しても、苗を買ったら超遠方産だったとか外国産だったなんてことがごく当たり前のみどり業界になっているからです。郷土種の種子を何千万粒も播種（はしゅ）したのに中国産だったということも！　遺伝子の人為的な均一化を防止するということです。

その考え方の先行的なものがドングリ緑化。樹木の種子を拾って育て植えようというものですが、練馬から進めていきたいのは草ですね。とかく樹木に目が行きがちですが、昆虫や微生物、土壌生物まで考えれば、やはり「草っぱら」だと思います。なんでも買うのではなく、身近な遺伝子を大事に考えようという感覚。



建築無料相談をご利用ください

毎月第4月曜日に、専門の建築士がお住まいに関する様々なご相談（新築・改築、リフォーム、苦情、工事業者とのトラブル、公的融資や耐震診断に関することなど）にお応えします。どうぞお気軽にご活用下さい。

●日程・会場　4月23日（月）【本庁舎1階臨時窓口】
5月28日（月）【本庁舎19階1906会議室】
6月25日（月）【本庁舎19階1904会議室】
●時　間　午前10時～12時／午後1時～4時
［主催］社団法人東京都建築士事務所協会練馬支部
TEL/FAX 3920-9901

編集後記

光が丘公園コースを歩きながら、取材ボランティアの方から田柄川緑道周辺の思い出やトンネルのような桜並木ができた背景を聞きました。同じ景色でも一緒に歩く人が違うと、ほんのり色を変えた風景になって、心に映し出されるみたいです。

ぜひ休日には、運動靴にはきかえて、地図とお弁当片手に「ねりまの散歩道」に出かけてみてはいかがでしょうか！

センターからのお知らせ

お問合せ　練馬まちづくりセンター
〒176-8501　練馬区豊玉北6-12-1　東庁舎6階
TEL 3993-5451　FAX 3993-8070

まちづくり交流会 練馬まちづくりのWAメッセ
ねりまのまちづくり大集合?!

区内のまちづくり活動に関わるさまざまなグループが出会う場として「まちづくり交流会～練馬まちづくりのWAメッセ2007～」を開催します。ぜひお越しください！

日時●平成19年5月26日（土）
午後1時30分～7時30分
平成19年5月27日（日）
午前10時～5時
場所●勤労福祉会館（東大泉5－40－36）

出展団体募集！ あなたのまちづくり活動を教えてください！

対象●練馬区内において、区民主体のまちづくり活動を行っているグループ、施設など
出展内容●①展示パネルによる活動紹介②冊子、ニュースレターなどの配布③参加団体PR冊子の掲載（複数選択可）
申込・お問合せ●4月19日（水）までに練馬まちづくりセンターへ

平成18年WAメッセのようす

まちづくり講座① 練馬区の観光まちづくり
「るるぶ練馬区」を通して

「るるぶ練馬区」の編集にかかわるエピソード等を通して練馬区の観光まちづくりを考えます。

日時●4月25日（水）午後7時～9時
場所●練馬区役所本庁舎20階　交流会場
講師●千葉和子氏（㈱JTBパブリッシング担当課長）
定員●50名（応募多数の場合は抽選）
申込●八ガキかFAXで①講座名②住所③氏名（ふりがな）④電話番号を4月16日（月）までに練馬まちづくりセンターへ

「こもれび」、次号の発行は7月です！

次号より情報誌「こもれび」の発行時期が年4回の季刊に変わります。回数は減りますが、内容はより充実していく予定ですので、引き続きご愛読ください。

地域とつくるはじめての屋敷森
（仮称）練馬区立石庭の森緑地　基本計画策定！

東大泉7丁目の「（仮称）石庭の森緑地」を区民が憩える緑地に整備するために、地元の方をはじめ、練馬みどりの機構と区が参画して基本計画を策定しました。平成18年11月20日から2月24日までの間に、3回のワークショップ、4回の協議会を重ね、「（仮称）石庭の森緑地」のコンセプト、ゾーニング、管理・運営方法等についてアイデアを出し合いました。3月11日には、基本計画発表会と葉っぱい小祭りを行いました。

（仮称）石庭の森緑地は、敷地全体が売却・開発される予定でした。そこで、練馬の原風景の面影を残す貴重な屋敷森を継承しようと、練馬区が地元町会をはじめとした区民の皆様と協働し、屋敷森の主要部分を取得することになりました。

みどりをまもり育む協働の組織
練馬みどりの機構

『練馬みどりの機構』は、屋敷林や雑木林・農地などの練馬らしいみどりを媒介とした地域コミュニティの形成を目指すとともに、みどりの情報ネットワークをつくります。そして、区民・区内事業者と練馬区の三者の協働により、区内のみどりの保護と保全、育成および活用に全力をつくします！

策定された基本計画を礎にして平成19年4月から設計に移り、平成20年3月には竣工の予定です。この間も地元のみなさんとみどりの機構が区と協働で管理運営方法等について具体化していき、「石庭の森」への愛着をより一層深めていきたいと考えています。興味のあるかたは、左記練馬みどりの機構までぜひお問い合わせください。

イラスト：矢口由美子

石庭の森緑地プロジェクトメンバーも募集中です！

会員募集中

みどりや自然が好きな人集まれ！
正会員、賛助会員、葉っぱい会員の3種類の会員を募集しています。
活動にご賛同いただける方は、事務局までご連絡ください。お待ちしています！

※『練馬みどりの機構』のホームページから、入会申込書がダウンロードできます。
http://www.nerimamidorinokikou.org/

事務局：練馬まちづくりセンター内
練馬区豊玉北6-12-1
ＴＥＬ 3993-5451　ＦＡＸ 3993-8070
E-mail midori@zai-ntk.or.jp　担当：岩崎、田中（聖）

INFORMATION 福祉のまちづくりパートナーシップ区民活動支援事業
みんなでつくろう すっと住みたい やさしいまち

区民企画に助成します
地域のみんなのアイディアで 安心 らくらく 便利 なまちをつくろう

区は誰もが地域の一員としていきいきと生活し、安心して自由に社会参加ができるまちづくりを目指す「練馬区福祉のまちづくり総合計画」を進めるため、区民のグループから募集した企画に、事業費の一部を助成します。

助成対象

●はじめの一歩部門（6件程度）　限度額 5万円
来年度の事業提案を目標とした準備の活動

●パートナーシップ活動助成部門
福祉のまちづくりの課題解決のための活動や整備
①地域活動助成（5件程度）　限度額 10万円
②設備整備助成（2件程度）　限度額 30万円

＊助成グループには併せて、研修会、バリアフリーやまちづくりの専門家の相談、派遣等を行います。

選考方法●書類審査および公開審査会での審査
申　込●出張所、図書館、障害者課、区ホームページにある「応募の手引き」をご覧のうえ、応募書類を4月28日（土）までに障害者課へ（4月28日は本庁舎一階特設窓口）

説明会

日時●平成19年4月4日（水）午後1時～午後2時30分
場所●区役所西庁舎3階会議室
申込●当日会場受付　※車での来場は、遠慮ください。【手話有】

事前相談（予約が必要です）

日時●4月9日（月）から13日（金）平日午前9時～午後5時（11日は午後8時まで）
場所●練馬まちづくりセンター（練馬区役所東庁舎6階）
申込●練馬まちづくりセンター　TEL 3993－5451まで

18年度の助成事業

●商店街に、気軽に話せる「ほっとベンチ」をおきました！（おとり様商店会ひとみが研究会）●空き店舗を利用して地域の情報発信拠点をはじめました！（大泉学園まちづくりネット）●情報誌の録音を視覚障害者や地域の高齢者へ宅配！（NPO法人点訳・音声訳集団一歩の会）●その他

お問合せ　練馬区地域福祉課　やさしいまち推進担当
TEL 3993-1111（代）
FAX 5984-1214
電子メール
shogaishaka03@city.nerima.tokyo.jp

今、行ってみたい!! 素敵な風景②

「練馬区の素敵な風景１００選」の中から今の時期に見られる風景をご紹介します！

ア 武蔵野稲荷神社の八重桜（栄町10）

イ 平成つつじ公園（練馬1－17）

ウ 石神井川沿いの桜（中村橋）（練馬4丁目）

エ 法融寺本堂とシダレ桜（関町東1－4）

オ 清水山憩いの森のカタクリ（大泉町1－6）

撮影者（敬称略）
ア 大久保幹夫
イ 清水静
ウ 高橋一男
エ 野瀬和雄
オ 練馬区

- 問合せ -
練馬区 商工観光課 観光係
☎3993-1111（代）

練馬区交通安全課からのお知らせ

P オートバイの駐車場を利用しましょう

有人管理　監視カメラで安心安全　屋内駐車場です！

ちょっとの違反　大きな迷惑！！

練馬駅北口地下駐車場　収容台数 30台　☎3557-5190
石神井公園駅北口駐車場（石神井公園ピアレスパーキング）収容台数 25台　☎5910-3981

1コイン　1時間 100円　1日最大 500円（入庫当日24時まで）

＊50ｃｃ以下の原動機付自転車は駐車できません。詳しくは、各管理事務所へお問合せ下さい。

安全安心・有人管理の快適な区立駐車場は駅の前です。

石神井公園駅デザインアイデア画コンテストの入賞作品が決まりました

最優秀賞　石神井中学校　沼田美咲さん

現在、練馬区では西武池袋線（練馬高野台駅～大泉学園駅間）連続立体交差事業の実施にあわせ、石神井公園駅の南北が一体化した駅前整備を計画しています。

そこで、より愛着と親しみのある駅前空間とするため、新しい駅にふさわしい駅舎と駅前広場のアイデアを募る「石神井公園駅デザインアイデア画コンテスト」を実施しました。応募総数４８０作品の中から厳正な審査の結果、最優秀賞１名・優秀賞５名・佳作１５名の方が決定しました。今後は、入賞作品のアイデアやコンセプトを実際の整備に反映していきます。多数のご応募、ありがとうございました。

問合せ　練馬区 西部地域まちづくり課 ☎3993-1111（代）

INFORMATION